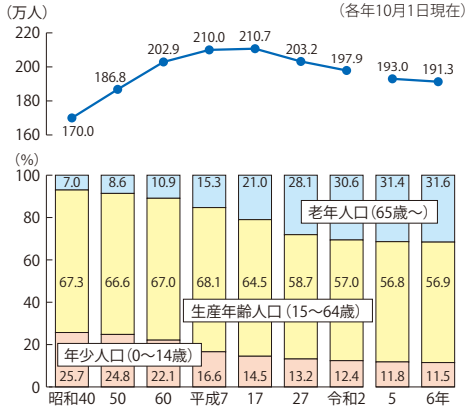


C 人口

C 1 人口・年齢3区分別人口割合の推移



注) 年齢3区分別人口割合は、年齢「不詳」を除いた人口を用いて算出
資料: 国勢調査、岐阜県人口動態統計調査

●人口

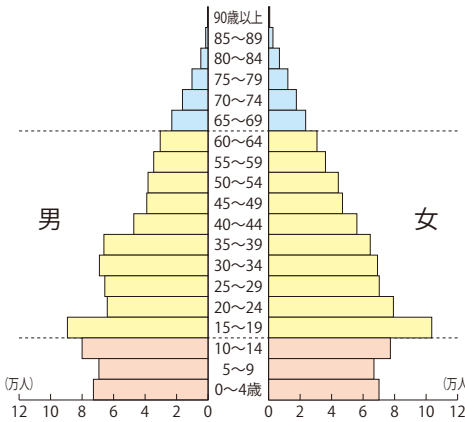
- 令和6年10月1日現在の人口は1,913,076人。前年の1,929,669人から16,593人(0.9%)減少した。
- 少子高齢化による自然減少と県外への転出超過により、平成16年をピークに人口の減少が続いている。[C 1, C 6]

●年齢3区分別人口割合

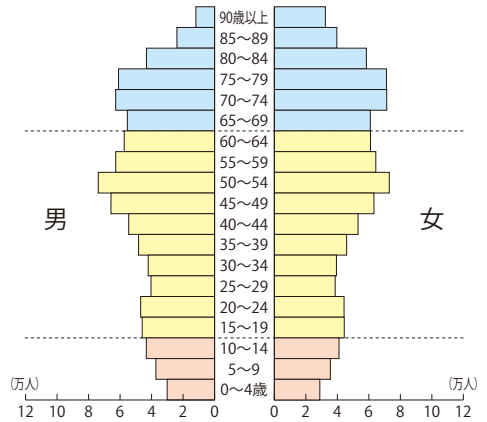
- 年齢3区分別に人口に占める割合をみると、令和6年には年少人口は11.5%、生産年齢人口は56.9%、老年人口は31.6%となった。
- 昭和40年と比較すると、年少人口は14.2ポイント低下し、老年人口は24.6ポイント上昇した。[C 1, C 2]

C 2 人口ピラミッド (男女・年齢5歳階級別の分布)

昭和40年(1965年) 1,700,365人



令和6年(2024年) 1,913,076人



資料: 国勢調査、岐阜県人口動態統計調査

C 3 人口・世帯数

(各年10月1日現在)

区分	人口		世帯数	世帯規模(注)
	男	女		
昭和40年(1965)	821,444	878,921	390,610	4.35
50(1975)	907,382	960,596	483,766	3.86
60(1985)	986,919	1,041,617	567,946	3.57
平成7(1995)	1,019,549	1,080,766	645,341	3.25
17(2005)	1,020,570	1,086,656	713,452	2.95
27(2015)	983,850	1,048,053	753,212	2.70
令和2(2020)	960,436	1,018,306	780,730	2.53
5(2023)	936,796	992,873	792,325	2.44
6(2024)	928,697	984,379	797,299	2.40

注) 人口を世帯数で除した数

資料: 国勢調査(昭和40年~令和2年)、岐阜県人口動態統計調査(令和5,6年)

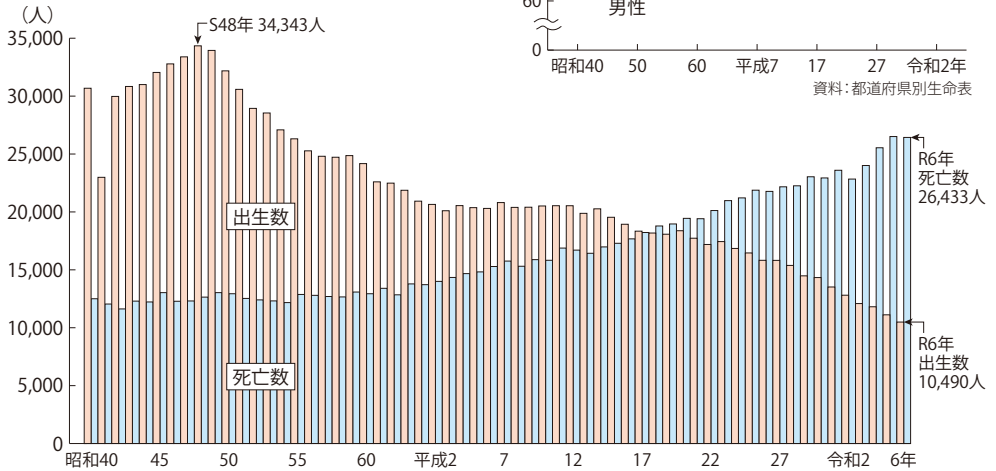
●出生

- 出生数は、昭和48年をピークに減少傾向にあり、令和6年には10,490人となった。〔C 6〕
- 令和6年の合計特殊出生率は1.27で、全国の1.15を上回っている。〔C 4〕

●死亡

- 死亡数は、増加傾向にあり、令和6年は26,433人となった。〔C 6〕
- 平均寿命は、男性81.90年、女性87.51年と伸び続けている。〔C 5〕

C 6 出生数と死亡数の推移



注) 前年10月1日から当年9月30日までの1年間の合計
資料：岐阜県人口動態統計調査

●在留外国人数

- 県人口が全国17位の規模であるのに対し、県内の在留外国人数は全国13位と比較的高い水準にある。
- 国別では、フィリピン、ベトナム、ブラジルの上位3か国で全体の約6割(57.6%)を占める。〔C 7〕

C 7 在留外国人数

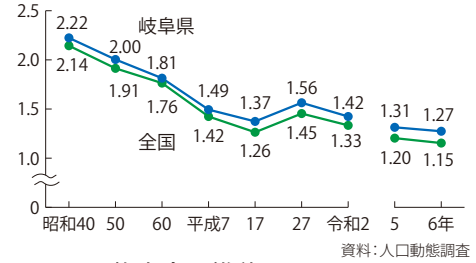
(令和7年6月末現在)

国名	総数	フィリピン	ベトナム	ブラジル	中国	インドネシア	ネパール	韓国	その他
人数(人)	77,301	16,562	15,621	12,375	9,268	5,144	3,123	3,095	12,113
構成比(%)	100.0	21.4	20.2	16.0	12.0	6.7	4.0	4.0	15.7

参考) 在留外国人総数の多い県内自治体
岐阜市 12,584人、可児市 9,822人、大垣市 6,838人、美濃加茂市 6,559人

資料：在留外国人統計

C 4 合計特殊出生率の推移



C 5 平均寿命の推移

